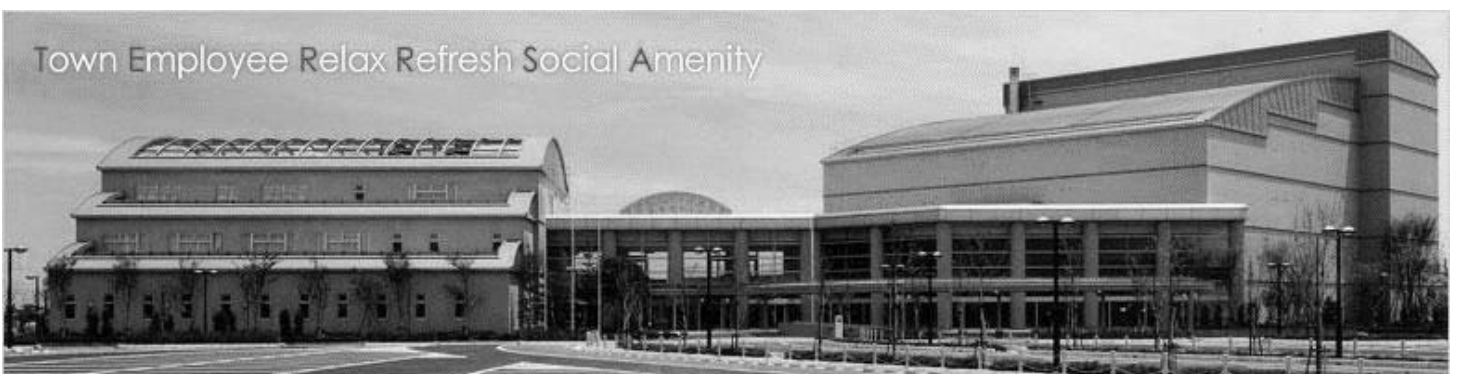


新潟勤労者総合福祉センター（新潟テルサ）
ホールにおける新型コロナウイルス感染予防対策

令和4年9月18日改訂版

（指定管理者） 公益財団法人 新潟市開発公社

- 1 対策の目的、位置づけ
- 2 感染予防のための基本的な考え方
- 3 催物（イベント）の実施について
- 4 具体的な対策 および 留意事項
 - 施設管理者が実施する対策 と 主催者にお願いする対策・留意事項
- 5 別紙
 - ・ 慎重な対応を要する活動



1 対策の目的、位置づけ

(1) 目的

この対策は、新潟勤労者総合福祉センター（以下「新潟テルサ」という）を利用するすべての方の安全を確保するため、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として実施すべき基本的事項を、公益社団法人全国公立文化施設協会が策定した「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、新潟市雇用政策課が策定した「新潟テルサ（ホール・会議室）の施設管理に関するガイドライン」、新潟市文化政策課が策定した「文化施設の利用に関するガイドライン」を踏まえて整理したものです。

(2) 位置づけ

新潟テルサの指定管理者（以下「施設管理者」という。）、新潟テルサで公演又は催事等を主催する事業者（以下「主催者」という。）は、国、新潟県、新潟市の方針の趣旨・内容を十分に理解した上で、本対策に示された「感染防止のための基本的な考え方」、「催物（イベント等）の実施について」及び「具体的な対策および留意事項」を踏まえ、個々の公演の規模や態様等も考慮した創意工夫も図りつつ、新型コロナウイルスの感染拡大予防に取り組むことが求められています。

本対策の内容は、今後発表される対処方針の変更のほか、新型コロナウイルスの感染拡大地域における動向や専門家の知見を踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとします。

2 感染予防のための基本的な考え方

基本的には、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく感染拡大防止策を徹底することが重要です。手洗いや対人距離の確保等（できるだけ2m、少なくとも1mを目安に）の基本的な感染防止対策の継続など、以下の点に留意してください。

- (1) 密閉・密集・密接を避けた運営（入場制限・入場整理・案内等）
- (2) 入場口及び施設内での手指の消毒
- (3) マスクの着用
- (4) 換気
- (5) 施設・設備の消毒

3 催物（イベント等）の実施について

「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発しないイベント（大声なし）」については、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じるなどの感染防止策（別紙）を徹底することを前提に、収容率100%の利用を可能とします。それ以外のものについて（大声あり）は、マスクの着用などの基本的な対策を講じたうえで、前後左右の座席間を1列・1席以上空けてください。大声なしエリア・大声ありエリアの両方を設ける場合は、その境界を明確に区分し、それぞれにおけるイベント参加者同士の距離を確保すること、及び大声なしエリアや共用部における大声を防止するための対策を実施してください。いずれの場合も、業種別ガイドラインを遵守するとともに必要な感染防止策を講じてください。業種別ガイドラインが策定されていない内容でホール・会議室等を利用する場合は、予約受付前に施設管理者は施設設置者に相談することとします。

また、新潟県の方針により、主催者は「感染防止策チェックリスト」を作成し、必要に応じてホームページやSNS等で公表したうえで、イベント終了日から1年間保管する必要があります。また、イベントで問題が発生（クラスタの発生、感染防止策の不徹底）した場合は、「結果報告書」の提出を求めることがあります。※これらの書類は新潟テルサにも提出していただきます。





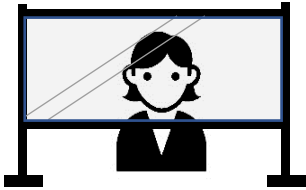


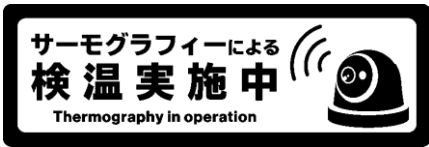

- 主催者は、適切な感染防止策（入退場時の制限や誘導、ロビー等における密集の回避、手洗いの徹底、
- マスク着用、室内の換気、出演者の発声等を伴う催物にあつては客席との十分な距離を確保、声援に係る感染防止等）を実施すること。
- イベント・会議等の前後や休憩時間などの交流の場で感染拡大リスクが高まる可能性があることから、主催者は、こうした交流等を極力控えることを呼びかけるよう周知すること。
- 主催者は、イベントの出演者・観客等の移動中や移動先における感染防止のための適切な行動管理を行うこと。
- 主催者は、上限人数に満たないイベント・会議等であっても、形態や場所によってリスクが異なることに十分留意すること。（密閉空間での大声の発声、歌唱や声援、近接した距離での会話等）
- 主催者は、参加者の名簿を作成して連絡先等を把握すること。

室場	入場者数の上限	根拠
ホール	大声あり・なしの状況によって、身体的距離の確保ができる席数 (収容定員：1,510人)	
楽屋1	各室4人 (収容面積：約16㎡)	約4㎡間隔 および 空調換気能力
楽屋2		
楽屋3		
楽屋4		
楽屋5		
楽屋6		
リハーサル室	8人 (収容面積：約32㎡)	※楽屋1～6 窓と入り口を常時開放すれば若干の増員を可とする
控室1	30人 (収容面積：約120㎡)	
控室2 (親子観覧室)	2人 (収容面積：約8㎡)	
控室3 (親子観覧室)	各室2人 (収容面積：約11㎡)	

※ホール以外の室場は推奨定員

・・・実情に応じて、身体的距離を十分に確保できるよう配慮したうえで利用してください。

4 具体的な対策および留意事項

施設管理者が実施する対策	
	
職員はマスク等を着用し、こまめな手指洗浄・消毒を行い業務にあたります。発熱など、感染の疑いがある職員は自宅待機とし、万が一感染が判明した場合は速やかに公表のうえ感染拡大の防止に努めます。	
	
ご利用開始前に、多くの方が手を触れるドアノブ・手すり等を消毒用アルコール等を用いて清掃します。	常時機械換気を行うことで、ビル管理法に基づく空気環境の調整に関する基準を満たします。
	
施設の各所に手指消毒液を用意します。	当日券販売窓口用に飛沫防止シールドを用意します。
	
ロビーにおける行列整理用の用具を用意します。 (ロープ・コーン等)	「着席禁止表示」を用意します。 必要に応じて簡単に取り付けられます。
	
サーモグラフィーカメラをご用意します。	非接触型体温計をご用意します。

主催者をお願いする対策・留意事項

新潟テルサを利用するすべての方の安心・安全のため、ご協力をお願いします。対策が不十分と認められる場合やご協力いただけない場合は、是正もしくはご利用の中止を求めることがあります。

計画



準備・リハーサル・本番（舞台・ロビー・ホワイエ）から撤収までのすべてのスケジュールにおいて、余裕を持った時間を設定するとともに、出演者・関係者においても密集・密接・密閉状態にならないよう必要な対策を講じてください。

余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑（密集状態）緩和に努めてください。

別紙「慎重な対応を要する活動」については、特に配慮をお願いします。

「感染防止策チェックリスト」を作成・施設管理者に提出し、必要に応じてホームページやSNS等で公表したうえで、イベント終了日から1年間保管する必要があります。

接触感染
飛沫感染
の防止



参加者・関係者・出演者全員（出演者は公演中を除く）にマスクの着用をお願いし、着用されない方の入館はお断りしてください。持参していない方に提供できる予備のマスクをご用意ください。特別な事情により着用できない方にはタオルなどで口元を覆ってもらってください。

参加者・関係者・出演者全員に手指消毒や石鹸での手洗いをお願いしてください。

施設の各所に手指消毒液を設置していますが、不足することがありますので、できるだけ主催者においてもご用意ください。

握手会、サイン会、出演者が客席に行くこと、アンケート回収、チラシ配布、サンプリングの手渡しなどは行わないでください。

飛沫・接触感染のリスクのある演出（声援を惹起（じゃっき）する、参加者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないでください。

参加者によるアンコールなどの掛け声・声援・歌唱などは控えるよう周知してください。

場内では会話を控えていただくよう周知してください。

入り待ち、出待ちをしないよう周知してください。

出演者へのプレゼント、手紙、差し入れ等のお預かりは控えてください。

演奏・演技・舞踊等において、大声での発声、歌唱、呼気が激しくなるような運動が想定される利用の場合は、出演者および関係者同士の間隔を十分に確保してください。

管楽器の演奏等については、飛沫拡散等に注意してください。

向かい合っただけの大声での発声、歌唱は原則不可ですが、やむを得ない場合はマスクに加えフェイスシールド等の対策を講じてください。

なお、活動前後や休憩中はマスク着用などの咳エチケットを徹底してください。

スタッフミーティングの場、控室、楽屋等でも密状態や対面での会話を避けてください。

換気



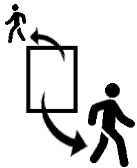

開演の前後には、客席出入口の扉を開放したままにしてください。（演出上支障がなく、周辺施設に対する騒音の懸念がなければ開放したままの開催が望ましい。）





場内は常に換気システムを稼働していますが、公演時間に応じて途中休憩を設け、入場口、客席扉、非常口を開放して換気を行ってください。（1時間に1度以上の頻度で1回5分以上）

換気により場内の温度が適切に保てなくなることがありますので、来館される方には暑さ（寒さ）への備えをお願いしてください。

楽屋においても常時換気扇を稼働させ、排煙窓も極力開放するなど十分な換気に努めてください。

主催者をお願いする対策・留意事項

<p>入場・退場</p> 	<p>入場者数の上限の考え方は3ページをご覧ください。</p> <p>開場前のロビーは密状態になりやすいため、十分な人数の整列誘導係を配置してください。</p> <p>次の事項に該当する方の入館はお断りしてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>37.5度以上の発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、味覚障害、嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢、嘔気などの症状がある場合 過去2週間以内に感染拡大地域や国への訪問歴がある場合 本人および同居の家族や身近な人が最近新型コロナウイルスに感染したりその疑いがある場合</p> </div> <p>入場者数の上限を100%未満としているイベントについて、今後、入場制限が緩和された場合は、その時点から追加席の販売（配布）ができるものとします。緩和の対象となるか否かは予めテルサにご確認ください。</p> <p>機材席などを設置したり、更なる感染予防措置のために空席を多くとる場合は、入場者数の上限からその分の座席を差し引いた数が上限となります。</p> <p>入場待ちの列は別紙「入場待ち誘導図」に従って列を作るよう誘導してください。荒天時等の配慮により屋内に列を作る場合は、ホワイエを開場していただく場合があります。</p> <p>余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場、開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。</p> <p>出演者の発声が行われる位置と客席との間隔は、水平方向に2m以上の距離をとってください。</p> <p>座席は原則として指定席とするなど、適切に感染予防措置がとれる席配置としてください。</p> <p>自由席とする場合は、入場整理券を発行するなど、事前に入場予定者数を把握してください。必要に応じ、予め「着席禁止表示」（テルサで用意）を座席に取り付けて空席を確保してください。</p> <p>参加者が一か所に滞留しないよう、見回りや声掛けを行うなど、必要な対策を講じてください。</p> <p>終演後は出口が混雑するため、状況により券種やゾーンごとの時間差での退場を誘導してください。また、2Fホワイエや東京学館側非常口からの退場を誘導することも検討してください。</p>
<p>ホワイエ (物販・展示)</p> 	<p>物販や展示スペースは密状態になりやすいため、案内誘導係を配置してください。</p> <p>2Fホワイエを活用して物販エリアと入場口を分けるなど、人が分散する工夫をしてください。</p> <p>物販開場待ちの列は別紙「入場待ち誘導図」に従って列を作るよう誘導してください。荒天時等の配慮により屋内に列を作る場合は、ホワイエを開場していただく場合があります。</p> <p>一度にホワイエに入る人数を制限するなどの対策を講じてください。</p> <p>ホワイエ内は一方通行となるよう工夫して誘導してください。</p> <p>飲食物の販売は原則として禁止します。(パッケージングされた土産物・ペットボトルのドリンクを除く)ただし、予め飲食を許可されている場合はこの限りではありません。</p> <p>多数の方が触れるような展示品や見本品などの取り扱いは極力控えてください。</p>
	<p>余裕を持った販売時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場や物販開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。</p>

主催者にお願いする対策・留意事項	
<p>飲食</p> 	<p>参加者の飲食は原則として禁止します。ホワイエ・ロビーに限り飲み物をとることは可能ですが、会話を控えるなどの呼びかけを行ってください。(食事休憩をはさんだ長時間のイベントの場合などは感染予防対策を十分にとることを条件に飲食可とすることがありますのでご相談ください。)</p> <p>冷水器の使用を休止しています。自動販売機をご利用になるか、ペットボトル等のフタつきの容器で飲み物を持参し、熱中症の予防にも注意するよう周知してください。</p> <p>関係者や出演者が楽屋等で飲食する場合は、使い捨ての紙皿やコップを使用してください。また、対面を避け、会話を控えるなどの呼びかけを行ってください。</p>
<p>消毒</p> 	<p>各所の消毒は行いますが、100%滅菌できるものではないので、基本的には各自の手指洗浄・消毒によって感染を防ぐよう、こまめにアナウンスしてください。</p> <p>手指消毒用アルコールの設置場所を周知してください。</p> <p>終演後、主催者はビニル手袋とマスクを着用したうえで、座席の隙間のゴミや落とし物を完全に除去してください。消毒に使用したゴミは無料で引き取りますので、直接手で触れないよう注意してまとめてください。</p> <p>使用した備品は施設管理者が用意した消毒液で適宜消毒してください。</p> <p>反射板を使用する場合、組み立て・片付けの作業にあたっては、使い捨てのビニル手袋をつけて扱い、適宜消毒を行ってください。</p> <p>複数の人によるマイクの使いまわしは極力避けてください。困難な場合は、施設管理者が指定する方法により使用者が交替する度に消毒を行ってください。</p> <p>ピアノの消毒は施設管理者が行います。関係者・演奏者は絶対にしないでください。その他の備品についても、消毒等の対策を講じる必要がある場合は施設管理者と協議してください。</p>
<p>情報の取得と提供</p> 	<p>自宅での検温やマスクの準備のほか、来館を控えてもらうケースを事前に周知してください。</p> <p>参加者・出演者・関係者全員の氏名と緊急連絡先の把握に努め、感染者が発生した場合など必要に応じて個人情報を保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。また、個人情報の適切な管理と廃棄（1カ月程度保管）をお願いします。</p> <p>接触確認アプリ等を活用する場合、その旨を事前に周知してください。</p> <p>マスクの着用や石鹸での手洗い・手指消毒等の感染予防を徹底していただくよう、こまめに場内アナウンスを入れてください。場内係は積極的に声掛けも行ってください。</p>
<p>感染者が発生した場合</p> 	<p>【開催前】 出演者・関係者に感染者が発生した場合、そのイベントの開催の必要性について改めて検討をお願いします。それを踏まえて開催する場合は、感染予防対策をさらに強化し徹底を図ってください。</p> <p>【開催中】 感染が疑われる人が発生した場合、速やかに別室へ隔離してください。対応するスタッフはマスクや手袋を着用し、施設管理者・医療機関・保健所へ連絡のうえ、今後の対応について指示を受けてください。</p> <p>【開催後】 感染者が来館していたことが開催後に判明した場合は、濃厚接触者の有無にかかわらず、速やかに施設管理者へお知らせください。</p>
<p>その他</p> 	<p>ご利用にあたっては、施設管理者の指示に従ってください。</p>

「慎重な対応を要する活動」

(新潟市文化政策課作成のガイドラインより)

以下の活動については、集団リスクが高いことから、十分に感染予防対策をとるなど、慎重に対応してください。

・密閉空間で大声を発するもの
・合唱や吹奏楽 ※1
・人との間隔を十分に確保できないもの

※1 「合唱（カラオケ）および「吹奏楽」の利用における留意点

- ・活動前後に、手指消毒を行う事
- ・対面での発声・演奏は避け、原則、一列で一方向を向いて行うこと
- ・隣り合う人との距離は最低でも1mとり、飛沫の飛ぶ方向の人および対面する指導者や指揮者との距離は2mとること
やむを得ず列を複数つくる場合には、飛沫が飛び散る方向に2mの距離をとること
- ・換気を励行すること
- ・個人持ちの楽器や楽譜の貸し借りは禁止すること。楽器などを、共有で使用する場合は、活動前後に拭き取り消毒（中性洗剤やウェットティッシュでも可）を行うこと
- ・カラオケや弾き歌い等の場合、交代ごとにマイクや楽器の拭き取り消毒を行うこと
- ・活動後は、床の清掃を行うこと。また、楽器等については、唾液の処理も適切に行うこと